



平成28年9月28日  
海上保安庁

## ロシア沿岸警備局長の当庁訪問について

### ～日露海上保安機関の連携協力の重要性を確認～

海上保安庁とロシア国境警備局は、海上における密輸・密航等の不法活動の取り締まり等において相互に協力しています。このたび、9月27日、東京において、メドベージェフロシア連邦沿岸警備局長と花角海上保安庁次長との間でハイレベル会合を行いました。

#### 1. 経緯

海上保安庁は平成12年9月、ロシア連邦国境警備庁（当時）との間で「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」を締結しました。これに基づき、両機関間ではこれまで累次にわたり各レベルにおける会合を行ない、協力関係の推進を図ってきました。

近年では、原則年一回の長官級会合のほか、日露合同訓練等を実施しております。

このたび、メドベージェフ ロシア連邦沿岸警備局長が来日し、花角海上保安庁次長とハイレベル会合を行いました。

※ロシア連邦国境警備庁（当時）は、連邦保安庁に編入され、国境警備局となった。沿岸警備局は、国境警備局の下部組織であり、メドベージェフ局長は、国境警備局の副長官を兼任している。

#### 2. 開催概要

日時：平成28年9月27日（火）

場所：海上保安庁本庁（東京・霞が関）

#### 3. 参加者

日本側：花角 英世 海上保安庁次長

ロシア側：メドベージェフ ロシア連邦沿岸警備局長（兼 国境警備局副長官）

#### 4. 結果概要

- 両国は、ハイレベルの交流や合同訓練、洋上会談など地方機関を含めた二国間協力、及び「北太平洋海上保安フォーラム（NPCGF）」での多国間協力について、これまでの協力関係を高く評価しました。
- 今後とも、こうした二国間協力、多国間協力を軸に、日露間で幅広い協力を確実に実施し、日露当局間の良好な関係を維持・発展させていくことで一致しました。